



FP Topics = 投資信託の具体的な知識 II = 2022年7月号

= One's impressions =

夏本番を迎えようとしています。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。先日少し時間ができたので、四国を車でゆっくり巡ってきました。いくつかの限界集落を見てきましたが、その過疎化ぶりにはとっても驚きましたΣ (・□・；)

先月号では、書き始めたら止まらなくなってしまったので、詳細はいつか書かせていただきます。

今月号は、長期積立分散投資に適した条件の続きを解説してみたいと思います。

= 長期積立分散投資に適した条件 =

6月号では、長期積立分散投資（つみたてNISA）に適した4条件のうち、2つをご紹介しました。

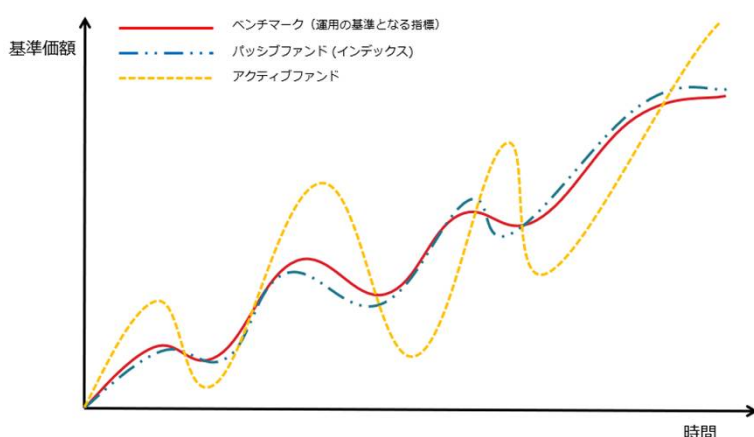
✦ 分配金は受取らない

分配金を元本に組み入れることにより、保有口数が増加します。長期積立による複利運用がよりいっそう効果的になります。

✦ 低コスト

つみたてNISAで採用されている投資信託商品群では、低コストの商品が厳選されています。そのなかでも信託報酬の年利率にはバラツキがあるようです。運用期間中は毎日差引かれる費用ですから、できれば低利率のものを選ぶことをお勧めします。

【インデックス型とアクティブ型】



投資信託商品には、その投資スタンスの区分として、『インデックス型』と『アクティブ型』の2つに分けられます。この2種類の性質をよく理解して投資信託商品を選択することが重要です。

インデックス型

ベンチマーク（運用のターゲットとしている指標《日経平均株価》《TOPIX》など）に連動した運用成果を目指すタイプの商品。市場の動きと連動した運用を目標としていることから、値動きがわかりやすいのが特徴。

【メリット】

- ・コストが比較的安価
- ・運用成績も比較的安定する

【デメリット】

- ・景気に連動することから、市場の動向に左右されやすい

アクティブ型

ベンチマークを上回るパフォーマンスを目指すタイプの商品。つみたてNISAの厳選された商品群ではごく少数の商品になります。比較的大きなリターンを狙う商品ですが、その管理に手間がかかる分、信託報酬等のコストが高くなります。

【メリット】

- ・比較的大きなリターンを狙うことができる
- ・相場低迷時のリスクヘッジするケースがある

【デメリット】

- ・運用コストが高い

※左の図で赤線（ベンチマーク）に追従している破線（青）がインデックス型運用です。一方、アクティブ型運用、破線（黄）はベンチマークを上回るパフォーマンスを目指していることから、乱高下が激しくなる傾向にあります。長期運用では、インデックス型運用に軍配があがるようです。運用を始めたいという方についてはインデックス型をお勧めします。

①代表的なインデックスの指標

	国内	外国（先進国）	新興国
債券	・NOMURA-BPI総合	・シティ世界国債インデックス	・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド
株式	・TOPIX（東証株価指数） ・日経平均株価（日225） ・JPX日経インデックス400	・MSCI Kokusai Index ・NYダウ（ダウ・ジョーンズ工業平均株価） ・S&P500	・MSCI Emerging Markets ・マーケット・インデックス
REIT（リート）	・東証REIT指数	・S&P先進国REITインデックス	・S&P新興国REITインデックス

上の図は代表的なインデックスの指標です。国内株式指標のTOPIX（東証株価指数）・日経平均株価（日経225）。先進国株式では、NYダウ（ダウ・ジョーンズ工業平均株価）・S&P500など一度は耳にしたことがあると思います。代表的な株価指数に連動する投資信託商品を選択することにより、比較的運用成績は安定すると考えられています。

日経225とは、日本を代表する東証1部上場会社のうち厳選された225社の株価指数を指します。外国（先進国）のうちS&P500には、アップル・アマゾン・マイクロソフト・アルファベットなどアメリカの超巨大企業の株式も含まれます。

さまざまな投資信託商品

先月号でもご紹介しましたが、2022年5月時点で約6,000本の投資信託商品が存在します。その中で、つみたてNISA対象の投資信託商品は213本です。

長期積立分散投資に適した投資信託として、厳選されたものです。その中でも、たいへん人気のある、代表的なものをいくつかご紹介します。

✦ 米国株式（S&P500）

この投資信託を購入するだけで、米国株式主要500社に投資することができます。

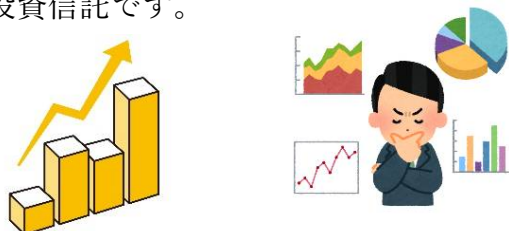
『GAFAM』に代表される超巨大企業の株式も含まれます。

✦ 全世界株式

世界の約50カ国の株式に分散投資するもの、約9,000銘柄を投資対象とするものもあります。

✦ 8資産均等型

日本国内や世界各国の株式、債券、不動産投資信託（リート）にバランスよく投資するバランス型投資信託です。



～今月の山便り～

息を殺して外の気配をうかがっていました。雨は止む気配がなく、テントを揺らしています。時間を確認したことを覚えています。漆黒の闇のなか、時計の蛍光塗料は眩しいほど目を射ります。

大体の時間は把握できたのですが、日の出にはまだたっぷり時間があつたように記憶しています。丑三つ時だったら嫌だなーなんて考えたのかもしれませんが、ときより大きな風がテントを揺さぶり、テントのなかに雨が降り注ぎます。強くなる雨音が遠くに聞こえるようでした。

気が付くと薄っすら白んできたようす。外の気配も消えていて、どうやらぐっすり眠ったようです。人間どんな状況でも寝られるものなんだなー、夢うつつ妙に感心していました。すこし疲れていたのかもしれませんが、次に目が覚めた時には、完全に夜が明けていて、雨も上がって晴天の予感です。

げんきなもの、急に元気になり大急ぎで撤収を開始しました。身の回りのものをすべてザックに詰め込みます。合理的なパッキングなんて関係ありません。どうせ全部びしょ濡れで重量配分もなにもないので。

長期山行で重荷の場合、合理的なパッキングはたいへん重要です。重量バランス等で疲れ方がまったく違ってきます。歩き方にも大きく影響し、危険地帯を通過する際も危険度が増します。長時間歩行による体への負担は想像以上に蓄積されるようです。

しかし、この状況ではすべての装備がびしょ濡れですべてが重いのです・・・勢いよく撤収を完了し、忘れ物など最終確認をします。早朝の清々しい空気の中、靡きは厳かな佇まい、雨粒が神秘的に輝いてみえます。一晩泊めていただいたお礼をし、助けていただいた、何かの大きな力にもお礼をしました。

さあ出発です。夜が明けると、踏み跡は簡単に見つけることができました。やはり人間にとって太陽の光はとっても重要なんだなーなんて感慨にひたりながら歩きだしますが、身体がバリバリになっていることに気が付きました。

一晩冷たい雨に打たれながら寝ていたのですからしょうがないなーと思いながら、身体にエンジンがかかり、体温が上昇するまで早歩きです。